



## 令和2年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

令和元年6月11日

上場会社名 株式会社きんえい 上場取引所 東  
コード番号 9636 URL <http://www.kin-ei.co.jp>  
代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)田中 耕造  
問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)好井 裕一 (TEL)06(6632)4553  
四半期報告書提出予定日 令和元年6月12日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 令和2年1月期第1四半期の業績(平成31年2月1日～平成31年4月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年1月期第1四半期	933	4.6	84	28.8	90	23.6	60	22.7
31年1月期第1四半期	892	△2.5	65	△12.3	73	△1.8	49	0.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年1月期第1四半期	21.69	—
31年1月期第1四半期	17.67	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年1月期第1四半期	6,114	2,044	33.4
31年1月期	6,170	2,012	32.6

(参考) 自己資本 2年1月期第1四半期 2,044百万円 31年1月期 2,012百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年1月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2年1月期	—	—	—	—	—
2年1月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 令和2年1月期の業績予想(平成31年2月1日～令和2年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,780	1.1	110	△9.0	110	△14.3	70	△18.6	25.10
通期	3,630	0.3	200	1.8	200	△1.8	120	1.8	43.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2年1月期1Q	2,821,000株	31年1月期	2,821,000株
② 期末自己株式数	2年1月期1Q	32,135株	31年1月期	32,135株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2年1月期1Q	2,788,865株	31年1月期1Q	2,789,075株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(追加情報)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、景気に足踏み感が見られるものの、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費は緩やかな回復基調を維持するなど、堅調な状況で推移しました。

この間当社におきましては、事業全般に亘る顧客満足度のより高いサービスの提供と部門別業績管理の徹底をさらに推進し、集客と収入の確保に努めました。

各セグメントの状況は次のとおりであります。

シネマ・アミューズメント事業部門におきましては、“名探偵コナン” “ドラえもん” “マスカレード・ホテル” “グリーン・ブック” “十二人の死にたい子どもたち”などの話題作を上映する一方、「アポロシネマメンバーズ」の会員獲得等による販売促進活動を積極的に推し進めた結果、収入合計は474,010千円（前年同期比4.8%増）となり、営業原価控除後のセグメント利益におきましても38,903千円（前年同期比8.2%増）となりました。

不動産事業部門におきましては、アポロビル・ルシアビルともに積極的なテナント誘致活動を進めた結果、このセグメント全体の収入合計は459,608千円（前年同期比4.4%増）となり、セグメント利益につきましては、119,600千円（前年同期比16.3%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高合計は933,618千円（前年同期比4.6%増）となり、費用面におきましても、部門別業績管理の徹底により、諸経費全般に亘って鋭意削減に努めました結果、営業利益は84,808千円（前年同期比28.8%増）となり、経常利益は90,911千円（前年同期比23.6%増）、四半期純利益は60,483千円（前年同期比22.7%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、その他の流動資産の減少等により前期末に比較して56,187千円減少し、6,114,154千円となりました。負債は、設備関係未払金の減少等により、前期末に比較して88,487千円減少し、4,069,391千円となりました。純資産は、四半期純利益など利益剰余金の増加額が配当金の支払い等による減少額を上回ったため、前期末に比較して32,299千円増加し、2,044,762千円となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和2年1月期の業績予想につきましては、平成31年3月14日に「2019年1月期決算短信（非連結）」にて公表した業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成31年1月31日)	当第1四半期会計期間 (平成31年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	95,189	172,963
売掛金	121,138	140,429
商品	4,029	4,344
その他	846,993	689,708
流動資産合計	1,067,351	1,007,446
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,982,837	2,921,042
機械及び装置(純額)	44,115	41,915
工具、器具及び備品(純額)	65,463	63,467
土地	1,123,748	1,123,748
建設仮勘定	4,809	-
有形固定資産合計	4,220,973	4,150,173
無形固定資産	38,511	112,179
投資その他の資産		
差入保証金	801,085	803,660
その他	42,420	40,694
投資その他の資産合計	843,505	844,355
固定資産合計	5,102,991	5,106,708
資産合計	6,170,342	6,114,154
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	124,688	150,855
短期借入金	250,000	750,000
未払法人税等	34,571	35,600
賞与引当金	12,100	25,900
その他	1,187,223	546,648
流動負債合計	1,608,583	1,509,004
固定負債		
長期借入金	600,000	600,000
退職給付引当金	96,296	97,696
受入保証金	1,553,885	1,568,646
資産除去債務	290,000	290,000
その他	9,113	4,044
固定負債合計	2,549,295	2,560,387
負債合計	4,157,878	4,069,391

(単位：千円)

	前事業年度 (平成31年1月31日)	当第1四半期会計期間 (平成31年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,200	564,200
資本剰余金	24,155	24,155
利益剰余金	1,532,353	1,564,948
自己株式	△109,935	△109,935
株主資本合計	2,010,773	2,043,368
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,690	1,394
評価・換算差額等合計	1,690	1,394
純資産合計	2,012,463	2,044,762
負債純資産合計	6,170,342	6,114,154

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成30年2月1日 至平成30年4月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成31年2月1日 至平成31年4月30日)
売上高	892,530	933,618
営業原価	753,778	775,114
営業総利益	138,752	158,504
一般管理費	72,927	73,696
営業利益	65,825	84,808
営業外収益		
受取利息	238	414
違約金収入	7,866	6,390
雑収入	358	1,520
営業外収益合計	8,463	8,325
営業外費用		
支払利息	748	2,220
雑支出	0	2
営業外費用合計	748	2,222
経常利益	73,540	90,911
特別損失		
固定資産除却損	1,870	3,560
特別損失合計	1,870	3,560
税引前四半期純利益	71,669	87,350
法人税、住民税及び事業税	30,126	32,603
法人税等調整額	△7,734	△5,736
法人税等合計	22,392	26,867
四半期純利益	49,277	60,483

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期累計期間(平成30年2月1日から平成30年4月30日まで)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	シネマ・アミューズメント事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	452,360	440,169	892,530	—	892,530
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	452,360	440,169	892,530	—	892,530
セグメント利益	35,939	102,812	138,752	△72,927	65,825

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費(全社費用)であります。

2 セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期累計期間(平成31年2月1日から平成31年4月30日まで)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	シネマ・アミューズメント事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	474,010	459,608	933,618	—	933,618
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	474,010	459,608	933,618	—	933,618
セグメント利益	38,903	119,600	158,504	△73,696	84,808

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費(全社費用)であります。

2 セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しております。